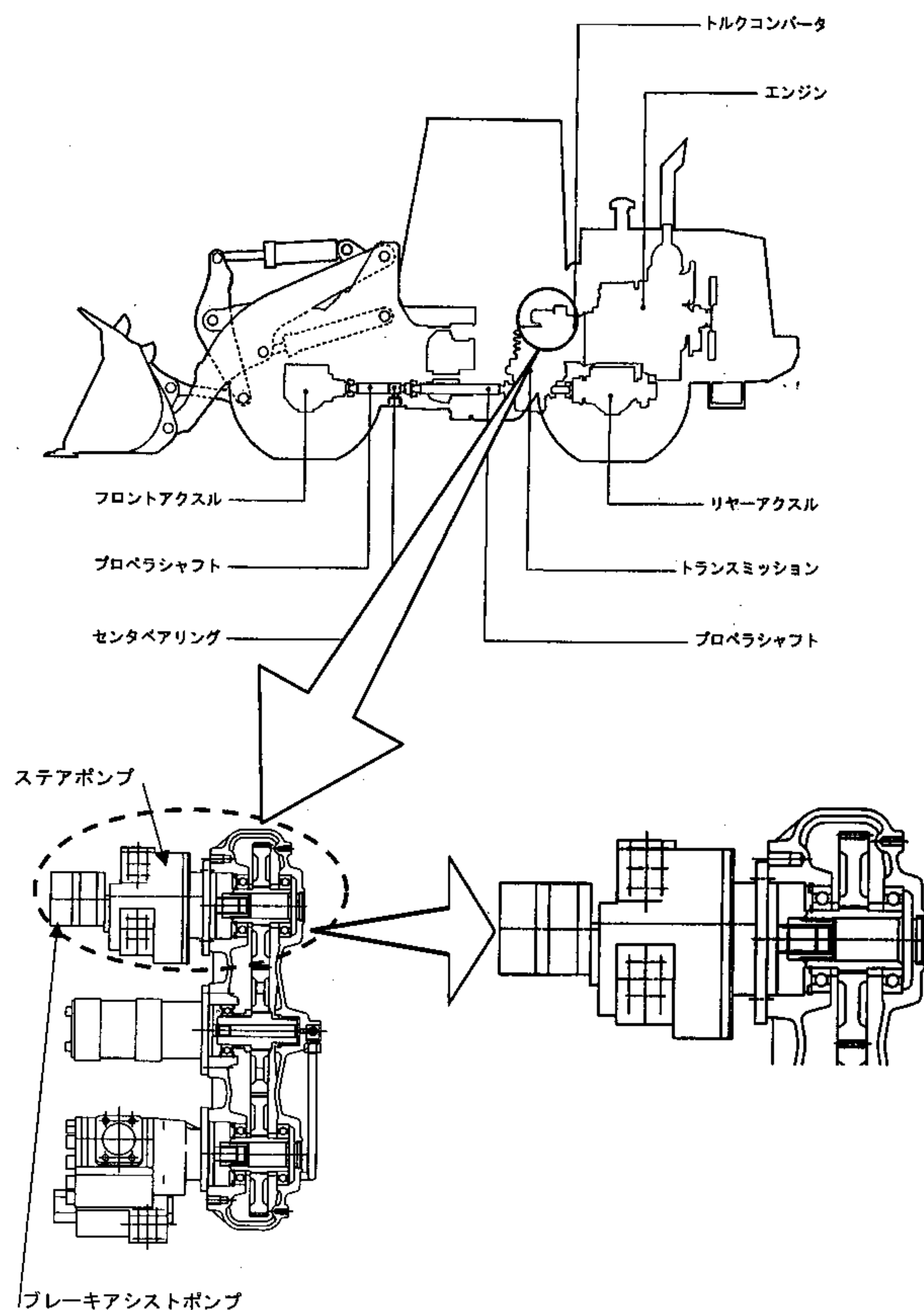
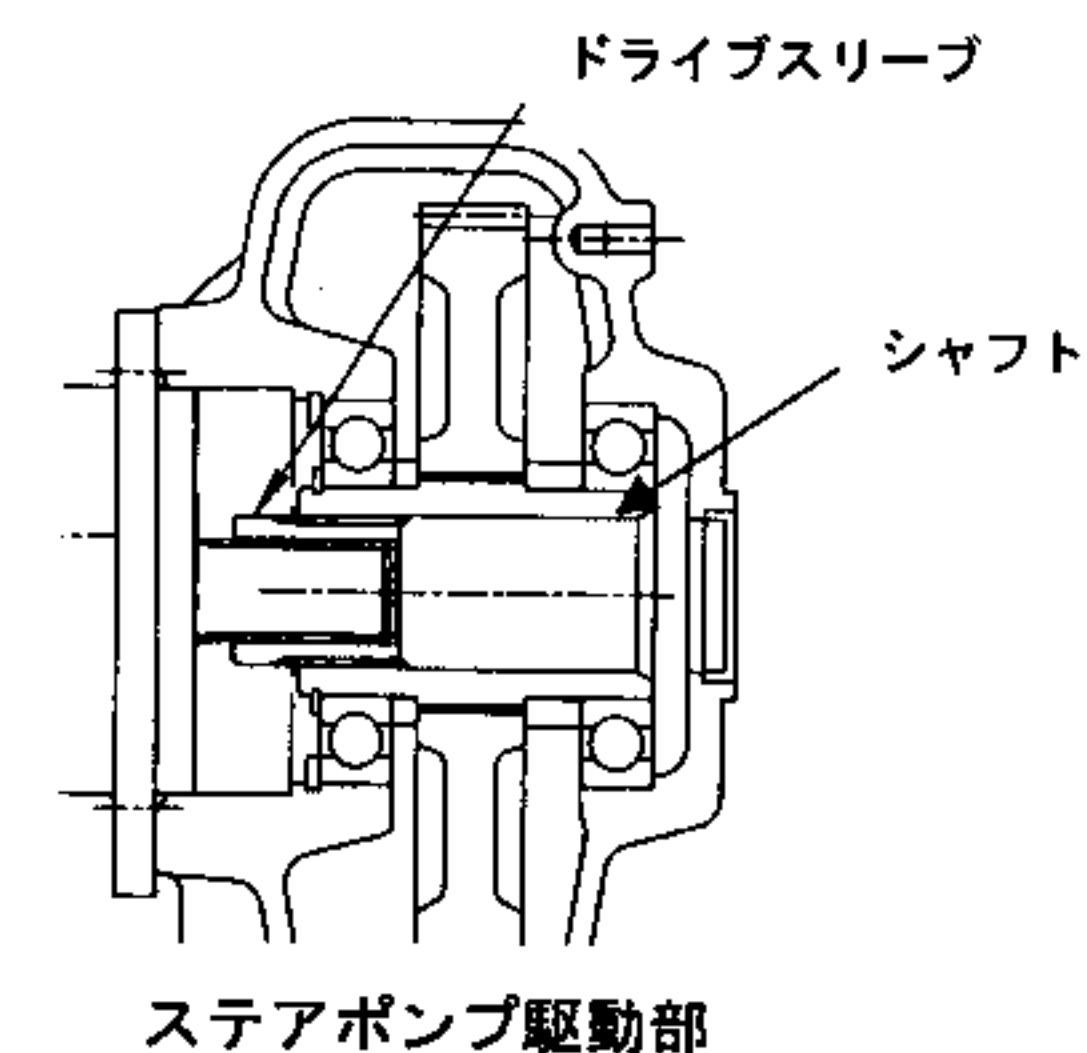


【改善箇所説明図】



【不具合発生箇所】

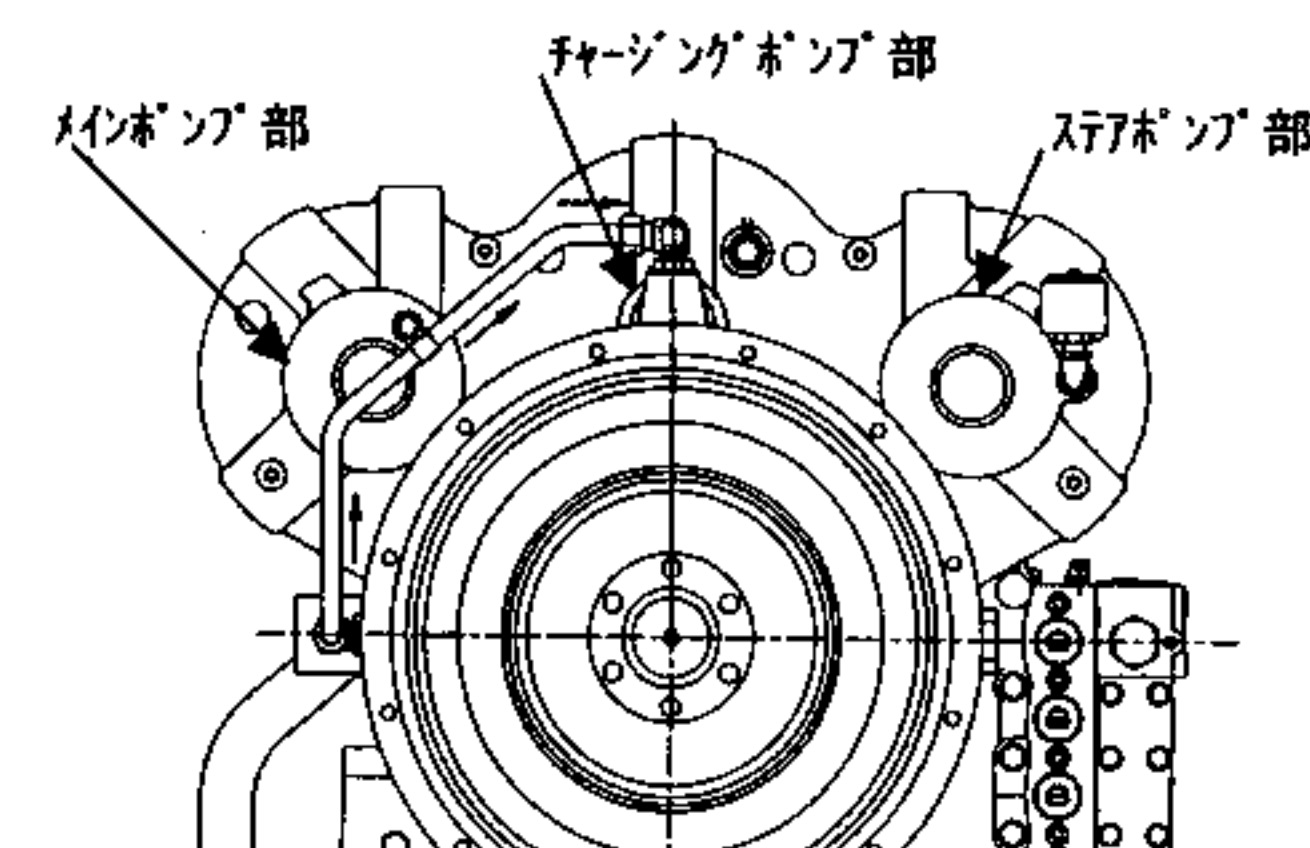
トランスミッションのステアポンプ駆動部の構造が不適切なため、当該駆動部(ドライブスリーブ部)に潤滑油が供給されにくく、そのまま使用を続けると、ドライブスリーブのスプラインが摩耗するものがある。そのため、最悪の場合、ステアポンプとブレーキアシストポンプが駆動できなくなり操舵不能になるとともに、駐車ブレーキが解除されず走行不能に至るおそれがある。



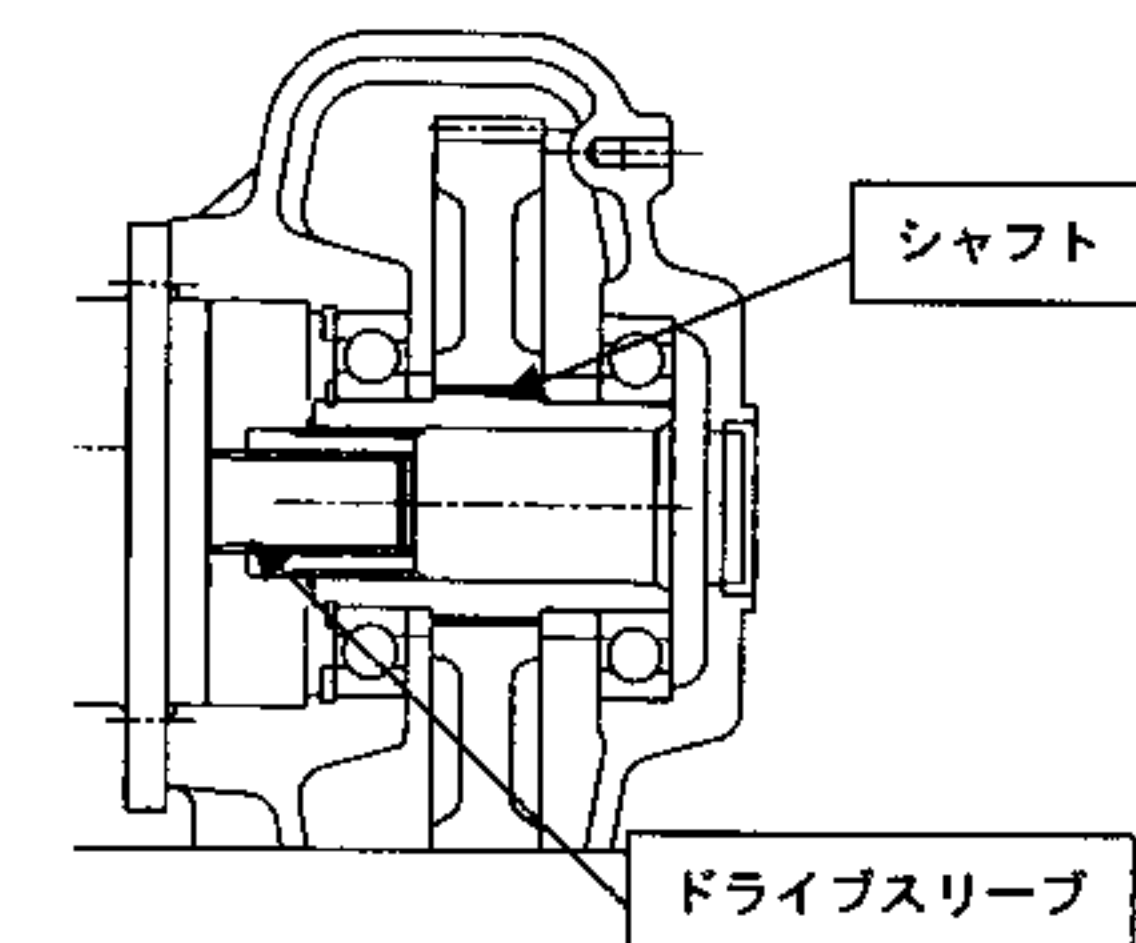
措置内容

全車両、ドライブスリーブのスプラインを点検し、摩耗しているものはドライブスリーブとシャフトを新品と交換する。また、強制潤滑を行うための外部配管を追加する。併せて、同構造のメインポンプ駆動部にも同様の措置を行う。

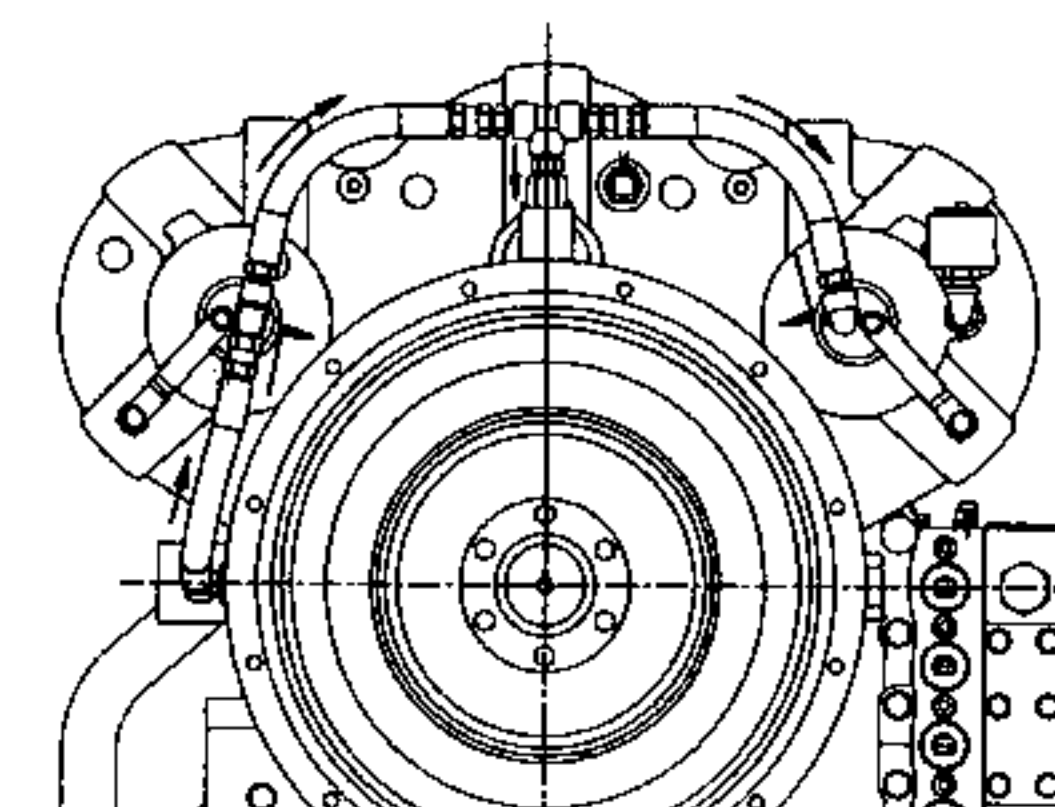
対策前（外観図）



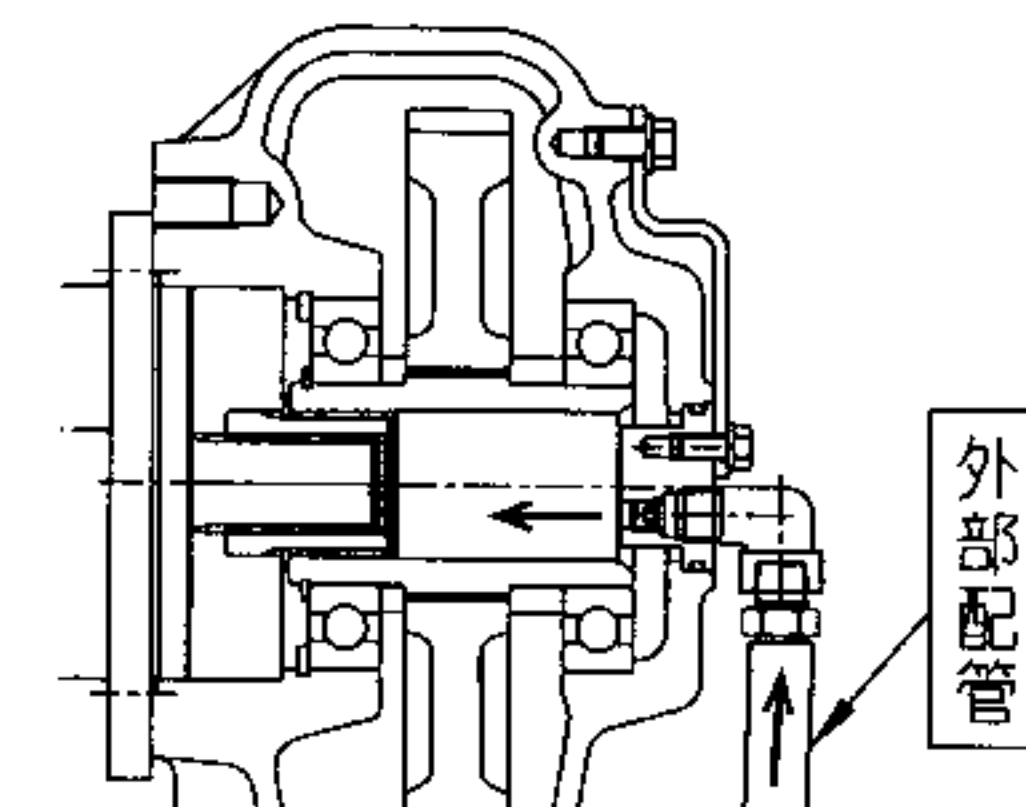
対策前（ステアポンプ部断面図）



対策後（外観図）



対策後（ステアポンプ部断面図）



注) □ は交換または追加する。